

第2回新嵐山スカイパーク経営改革

調査特別委員会会議記録

| | | | | |
|---|---|---------------|-------------|--|
| 開 閉 会 日 時 | 令和6年6月13日（木曜） | | 午前9時30分 開会 | |
| | 休 憩 9:47-9:49 10:12-10:13 10:30-10:45 11:09-11:10 11:36-11:45 | | | |
| | 11:45-11:50 11:54-11:55 | | 午前11時58分 閉会 | |
| | 休憩時間：0時間34分 | | 会議時間：1時間54分 | |
| 会議場所 | 本会議場 | | | |
| 出席委員 氏 名 | 委員長 鈴木 健充 | 委 員 立川 美穂 | 委 員 伊藤 稔 | |
| | 副委員長 正村紀美子 | 委 員 渡辺洋一郎 | 委 員 菊池 秀明 | |
| | 委 員 西尾 一則 | 委 員 堀切 忠 | | |
| | 委 員 常通 直人 | 委 員 橋本 和仁 | | |
| | 委 員 中村 和宏 | 委 員 中田智恵子 | | |
| | 委 員 早苗 豊 | 委 員 小笠原 等 | 議 長 梶澤 幸治 | |
| 欠席委員 氏 名 | 委 員 木村 淳彦 | | | |
| 説明等に 出席した 者の氏名 | 魅力創造課参事 中村宗紀 | 生涯学習課長 江崎健一 | | |
| | 魅力発信係主査 藤村勇貴 | スポーツ振興係長 梅森祐之 | | |
| 事務局職員 | 事務局長 安田 敦史 | 総務係長 竹川 恭史 | 総務係主査 上田瑞紀 | |
| 『会議に付した事件と会議結果など』 | | | | |
| 1 開 会 | | | | |
| ・委員長が開会を告げ、木村淳彦委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 | | | | |
| 2 議 件 | | | | |
| (1) 調査事項 | | | | |
| ア 令和6年度メムロスキー場の運営について 資料1 | | | | |
| ・魅力創造課参事：資料説明＜「1：基本理念」「2：経営形態・事業手法」「3：事業経費」「4：費用対効果」「5：今後のスケジュール（予定）」「6：その他」＞ | | | | |
| ・委員長：項目ごとに質疑を行い、最後に全体を通した質疑を行う。最初に「1：基本理念」について、質疑はないか？ | | | | |
| ・菊池委員：基本理念はプレオープンのためなのか？ | | | | |
| ・魅力創造課参事：基本理念は令和8年度以降も変わらない。 | | | | |
| ・立川委員：今後も費用対効果を求めず、社会体育施設に類する機能として維持していくのか？ | | | | |
| ・魅力創造課参事：基本理念は変わらず、今後ランドデザイン策定の中でそのような余地が出てくれば検討する。 | | | | |

- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で「1：基本理念」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「2：経営形態・事業手法」について、質疑はないか？
- ・正村委員：令和6・7年度のプレオープンについて、令和8年度につなげていくためにどのような段階を踏みながらプレオープンの時期を考えているのか？
- ・魅力創造課参事：新たな担い手を探しながら、ナイター営業も含めどの程度町として対応できるのか、スキー場利用者の方と協議しながら進めて、人材確保の点も含め、現時点では指定管理が望ましいと考えているが、様々な事業手法の検討も含め、令和6・7年度はプレオープンの位置づけで進めていきたい。
- ・正村委員：1つ1つの事業を今年度どの程度検証するのか？本格的なオープンに向けて計画的な検証の考え方があるのか？
- ・魅力創造課参事：資料の項目については、今年度のシーズンできちんと事業手法も含めて検討して、令和8年度指定管理をするのであれば、来年の夏には、指定管理事業者の募集をかけなければならないので、今の項目については今年度のシーズンの成果などを検証しなければならないと考えている。
- ・菊池委員：社会体育施設に類する機能を有するということだが、町民利用を促す必要はあると思うが、その点についてどのような考え方を持っているのか？
- ・魅力創造課参事：スキー団体の方やスキー場をこれまで利用いただいた方の問合せもあり、教育委員会を通じて既に学校から今年度の冬の授業の対応の可能性について相談をいただいております、まずは町民の方の利用が円滑に進むように教育委員会とも連携して進めていきたい。
- ・正村委員：2年間検証する上で何を1番に今年度運営すべきなのか、基本理念に基づき段階を踏んでスキー場をオープンさせる必要があると思うが、リフト稼働の考え方は？
- ・魅力創造課参事：学校の授業時の混雑緩和の要望については、検討させていただくと回答しており、6月下旬にスキー団体と再協議する。
- ・正村委員：町民にも今年度は開けることを最優先であるという姿勢を伝えるべきでは？
- ・魅力創造課参事：利用団体だけでなく町民に理解いただけるよう周知等していく。
- ・正村委員：これまでのシーズン券の検討状況は？
- ・魅力創造課参事：令和6年度リフト料金は据え置きで考えており、リフト料金の1/4がシーズン券の売上げでニーズがあるので引き続き検討する。
- ・橋本委員：リフト料金据え置き理由は？
- ・魅力創造課参事：管内の状況も鑑み設定。令和6・7年度はプレオープンという位置づけであり、今後リフト料金の改正が必要であれば令和8年度の本格オープンに向けて検討する。
- ・伊藤委員：休憩場所とトイレの場所がかなり離れているので動線としてきついのでは？

- ・魅力創造課参事：委員御指摘のとおり、動線に関しては、非常に御迷惑、御不便をかけるかと思うが、このような形でまずはオープンさせるスケジュールで考えている。
- ・堀切委員：リフト料金について令和7年度は見直すのか？
- ・魅力創造課参事：令和7年度は同じプレオープンの位置づけなので、現時点では据え置きになる見込み。
- ・中村委員：魅力創造課と生涯学習課の2つの課の連携は？
- ・魅力創造課参事：学校は教育委員会を通じ相談いただいております、校長会議の場での説明、スキー団体との協議は2課で出席して対応している
- ・橋本委員：スキーレンタルや飲食の提供は町内業者に声をかけるのか？
- ・魅力創造課参事：町内事業者に関していただくことは重要であり、様々な手法を検討する。
- ・中村委員：営業時間は土日も同じなのか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。
- ・早苗委員：リフトのシーズン券とスキーレンタルの検討すべき内容は？
- ・魅力創造課参事：来年度はプレオープンなのでシーズン券の販売は当初は難しいと考えていたが、利用料金の1/4はシーズン券の売上げであり、負担増になる懸念があるので検討が必要。スキーレンタルは以前は会社の自主事業で行っており、会社が行う前は町内事業者が運営していた経過があり、町で事業を行っていませんでしたので、担い手の確保を含めて検討が必要。
- ・早苗委員：シーズン券の販売はどこが担うのか？また、広告主体はどこになるのか？
- ・魅力創造課参事：販売は委託事業者を想定。アナウンスは町としての広報も必要である。
- ・正村委員：令和6・7・8年度に向けてのスケジュール感が必要ではないか？
- ・魅力創造課参事：令和8年度本格オープンに向けて今年度プレオープンし、シーズンオフに事業者、利用団体と協議し令和7年度に向かっていく。仮に令和8年度から指定管理を行うのであれば、令和7年度夏には仕様を固める必要があり、令和6年度を行っていく中で課題を整理していくような考えで検討。
- ・正村委員：令和6年度は子どものためにという部分が1本の線になっていないように思えるが、今後検討して、具体化していくという理解で良いか？
- ・魅力創造課参事：そういう視点を持って今年度のオープンに向けて進める。
- ・渡辺委員：子どもたちだけのスキー場ではなく、生涯学習の場でもあるので町民全体への周知が必要ではないか？
- ・魅力創造課参事：基本理念のとおり、生涯学習、年齢問わず、スポーツの場であることは当然であり、そういった点も踏まえ周知する。
- ・立川委員：令和6年度の運営で様々な民間事業者の協力が必要となるが、どのような手法で募集するのか？
- ・魅力創造課参事：まずは町内事業者案内し、その中で出店とか、レンタル分も含めて、協力いただける事業者の方を募っていきたいと考えている。その後、キ

キッチンカーなどは町内のイベントでも、町外から来ていただくと、それが利用者の方が楽しむ要素の1つにもなるので、まずは町内業者の方からになるが、利用者の視点も踏まえ、事業者の横のつながりで紹介いただくことも可能と考えている。

- ・常通委員：降雪・圧雪作業について、必要最低限とは誰がどのようなときにどう判断するのか？
- ・魅力創造課参事：降雪に関してはゲレンデを造成する際に下地を作るために利用し、また、降雪が少ないときにクローズさせることなく補助的な利用を考えている。圧雪車は営業後毎日利用。
- ・常通委員：キッチンカーの出店者に対しての場所代の考え方は？
- ・魅力創造課参事：今まで食事提供出来たという観点を踏まえると、こちらからお願ひする部分が多く、現時点では出店料はいただかない方向で検討。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で「2：経営形態・事業手法」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「3：事業経費」について、質疑はないか？
- ・橋本委員：リフト使用料の数値の根拠は？
- ・魅力創造課参事：ナイター営業をしないので直近3か年（令和2～4年）の7割程度を見込んでいる。
- ・橋本委員：収入が見込めなかったときは補正になるのか？
- ・魅力創造課参事：来年度は直営一部委託方式で、リフト使用料は町の歳入になり、一般財源の負担が増える。
- ・橋本委員：町として一般財源からの持ち出しの上限の考え方はあるのか？
- ・魅力創造課参事：社会体育施設に類する機能ということで、一般財源を一定負担してでも、芽室スキー場に関しては、営業を再開させていきたいと考えている。目安に関しては、歳入は気候状況もあり、目安をつくるのは難しい。
- ・菊池委員：歳出の6,910万円にプレオープンの経費は含まれるのか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。
- ・菊池委員：補正予算も歳出に資産として含まれているのか？
- ・魅力創造課参事：スノーモービル等はこれから点検するので修繕費は含まれていない。
- ・菊池委員：現段階でわかっている数値は？
- ・魅力創造課参事：現時点で把握できているのが今回の資料の数値。
- ・常通委員：ユニットハウスのリース料は設置料と撤去料も含めてのものか？
- ・魅力創造課参事：設置と撤去費用も全て含めてのものであり、シーズン終了後は撤去した方が安価になるので撤去の方向で考えている。
- ・西尾委員：今までのスキー場運営との違いの見解は？
- ・魅力創造課参事：プレオープンに当たって特に工事請負費に関しては、今年に限ってかかる。費用対効果の部分について町としては、社会体育施設に類するとい

うことで費用対効果の対象外という整理で、ある程度一般財源を負担した中で、スキー場を再開していきたい。

- ・西尾委員：降雪機や圧雪車の修繕の考え方は？
- ・魅力創造課参事：3頁の資料に記載のとおり。
- ・中田委員：委託料の3,160万円は駐車場の除雪やトイレの清掃も含めてのものか？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり・
- ・中田委員：スキーレンタル業者の賃貸料は発生しないのか？
- ・魅力創造課参事：これまでも町の歳入にはなっていない。管内でも行政財産使用料を免除している。
- ・正村委員：報道であった20名の人件費の考え方は？
- ・魅力創造課参事：交代要員も含めての20名である。
- ・魅力発信係主査：リフトの運行6名、降雪車・圧雪者運転、リフト券販売等6名の実質12名で交代要員も含めて20名程度必要になる。
- ・正村委員：今後人件費が増えていく可能性はあるのか？
- ・魅力創造課参事：A線B線も稼働するなら人員も必要となる。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で「3：事業経費」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「4：費用対効果」について、質疑はないか？
- ・正村委員：今年度は対象外とするという考え方だが、令和6年度・7年度費用対効果を検証して、令和8年度に向かうべきと考えるが。
- ・魅力創造課参事：基本理念が大前提であり、町としては今後、令和6・7年、8年の本格オープンに向けても、費用対効果の考え方については、この考え方で進めていきたい。
- ・正村委員：今年度プレオープンということで、様々な事業手法に係る経費というものも出てくるかと思うが、そうしたものも検証しながら、令和8年度につなげていくことも必要だと思うが。
- ・魅力創造課参事：令和6・7年度はプレオープンで8年度本格オープンではあるが、仮に指定管理に移行する場合も、設計の仕方や利用料金制も含めてどういった手法がいいのか検討を進めていかなければならないと考えている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で「4：費用対効果」について、質疑を終了する。

- ・委員長：次に「5：今後のスケジュール（予定）」について、質疑はないか？
- ・常通委員：プレハブ等の位置は団体等と協議していないものか？
- ・魅力創造課参事：5月の協議の際に提示したものであり、柔軟に対応する。
- ・正村委員：中長期的な修繕計画はリフトの架け替えも含めてのものか？
- ・魅力創造課参事：リフトの大規模な修繕や更新も含めたものと現時点で想定。

- ・ 正村委員：大規模な架け替えの費用はどのように計画の中に盛り込まれるのか？
- ・ 魅力創造課参事：リース等の更新になると億単位のお金がかかり、財源の確保の課題も含めて町の実行計画のルールの中で、町の財政の影響も含めて議論が必要。また、道内のスキー場でも少数ではあるが、リフトの更新を図っている自治体もあり、そういった情報も収集しながら検討を進める。
- ・ 正村委員：計画を運輸局に提出する前に、議会との協議予定は？
- ・ 魅力創造課参事：どのような内容であれば公開できるか今後検討するが、実行計画は公表しているのでそういう手法も考えられる。
- ・ 西尾委員：宿舎はないという前提で話をしているのか？
- ・ 魅力創造課参事：宿泊については、あり方の骨格でも利活用については未定で、リースのような形で、手戻りがないような形での手法が現時点では望ましいと考えている。
- ・ 渡辺委員：1番の課題は人員の確保だと思うが、補正の時期はいつ頃を予定しているのか？
- ・ 魅力創造課参事：7月から雇用できるようなイメージで、今回資料の補正予算の提案をさせていただければ追加の補正は考えていない。
- ・ 渡辺委員：スキー場管理業務委託の期間は？
- ・ 魅力創造課参事：7月～3月末までを想定。
- ・ 渡辺委員：雇用される20名は3月末までで雇用が切れるのか、通年雇用を考えているのか？
- ・ 魅力創造課参事：公園機能の管理も含め通年雇用を考えている。
- ・ 渡辺委員：業務委託期間は3月末までで良いのか？
- ・ 魅力創造課参事：町の会計上、単年になる。4月以降契約の手法を考える。
- ・ 常通委員：冬のスキー場以外のエリア利用は夏場と同様の体制で町から許可が得るのか？
- ・ 魅力創造課参事：スキー場の利用者の方が最優先で支障がない範囲で対応。
- ・ 立川委員：使用料の設定は？
- ・ 魅力創造課参事：行政財産使用料になる。
- ・ 早苗委員：キッチンカーの出店者に対し、経費負担も含め様々な条件を設定する必要があるのでは？
- ・ 魅力創造課参事：他市町村同様様々な条件を設定していく必要がある。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：以上で「5：今後のスケジュール（予定）」について、質疑を終了する。

- ・ 委員長：次に「6：その他」について、質疑はないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：最後に全体を通して、質疑はないか？
- ・ 立川委員：そりコースの整備は含まれるのか？
- ・ 魅力創造課参事：委託料の設計に含まれる。

- ・伊藤委員：プレハブの位置について、ゲレンデ近くにあるより全体を見渡せる位置の方が良いのではないか？
- ・魅力創造課参事：パトロールは救急車の出入りの関係もあり現在の位置になっている。
- ・菊池委員：スキー場はあくまで独立した施設としての考え方か？
- ・魅力創造課参事：お見込みのとおり。

- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の調査を終了する。

- ・委員長：これから自由討議を行う。意見はないか？
- ・渡辺委員：今後のスケジュールに沿った事業展開されているのか特別委員会として適宜調査すべきである。

- ・委員長：他にないか？
- ・（なし）
- ・委員長：以上で、本日の調査を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：正副一任
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：事務局からないか？
- ・（なし）

以上をもって委員会を閉会する。

| | | | | | | | | |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 0名 | 報道関係者 | 2名 | 議員 | 0名 | 合計 | 2名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|----|----|

令和6年6月13日

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会
委員長 鈴木 健 充